

とうほく

AOMORI・IWATE・MIYAGI・AKITA・YAMAGATA・FUKUSHIMA



年頭のご挨拶

東北地区屋外広告美術業組合連合会会長 大戸 邦男
(福島県屋外広告美術協同組合理事長)
(株)クリエィティブダイワ

二〇二三年の念頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。
皆様方には昨年コロナ禍の中で大変ご苦労が多
い年であった事とご推察いたします。又、ウクライ
ナ問題に関連し多方面にわたる値上げラッシュを
含め二重・三重のパンチにあつてはいる状況と考
えております。

さて、この値上げラッシュの状況が昭和四八年
のオイルショックの時に似ているように感じま
す。日本全国のスーパー店頭からトイレトペー
パーや洗剤がなくなったことは特に記憶に残
っております。その当時の貸出金利は八%前後
で預金金利が七%前後と記憶しております。昭
和四八年(昭和四八年)戸建て住宅が八〇〇
万円で購入できたのがそれから僅かの後には一
・五倍位の二〇〇万円まで一気に高騰したよう
に記憶しております。勿論、お給料もそれなり
に上がっております。行つた事を覚えておりま
す。当時は新技術も開発され新しい商品が続
々と発表され価格も上昇し、給料も上がりぐ
るぐるお金が増えていると実感できる時代で
した。

その分も載せられれば皆さんウイン・ウイン
に成るのではないのでしょうか。当然、賃上げに
成つた分は将来が不安だからと貯蓄に廻さず
に今必要な教育とか消費財に廻す事を前提
としますが、ところで、私達の業界については
イベント関係が少し戻ってきた状況です。政
府の経済を廻す活動を優先させる方向と成
つた事が、「コロナの第五分」ではないのでし
ょうか。しかし新築物件の状況については
ウクライナ問題による建設資材の高騰の影
響により新しい建築物件の減少しており私
達の業界にも影響を及ぼしております。こう
したなか私達の業界の中でも建築関係をメ
インにしている方々とイベント関係をメ
インにして方々では影響がかわつてい
ると考えます。クライアント「社依存」
ではなく三割バッターでなくともクライ
アントの分散やあくまで本業の延長線
上の業務によるお役立ちが大切ではな
いのでしょうか。「社依存・一業務オン
リ」でなく社業を展開している会社が
勝ち残ると改めてこのコロナ問題は私
達に教えてくれたのではないでしょ
うか。

今現在、仕入れ材料や燃料代・電気代等
など様々な値上がりが出ております。それ
をストレートに売価に転嫁しなければ自
社の存在そのものが危ぶまれます。勿
論、経費削減等の自助努力も必要で
すがそれで賄えないのならばお願いせ
ざるを得ません。今、政府が先頭に立
つて賃上げを謳っていますが

今年のお勧めの本をご紹介させて
頂きます。「強い円」はどこへ行った
のか唐鎌大輔著です。銀行さんとの
コミュニケーションに役立つと思
います。結びに、今年も役員・会
員の皆様のご指導・ご協力をお願
い致しまして年頭のご挨拶とさせ
ていただきます。

今年のお勧めの本をご紹介させて
頂きます。「強い円」はどこへ行った
のか唐鎌大輔著です。銀行さんとの
コミュニケーションに役立つと思
います。結びに、今年も役員・会
員の皆様のご指導・ご協力をお願
い致しまして年頭のご挨拶とさせ
ていただきます。

今年のお勧めの本をご紹介させて
頂きます。「強い円」はどこへ行った
のか唐鎌大輔著です。銀行さんとの
コミュニケーションに役立つと思
います。結びに、今年も役員・会
員の皆様のご指導・ご協力をお願
い致しまして年頭のご挨拶とさせ
ていただきます。

～先端新規ビジネスへ その開発思想は果てしなく～

東北藤光株式会社

www.t-tohkoh.co.jp

●各種看板資材取扱店●

〒983-0025

宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目2-46

TEL:022-254-0611

FAX:022-254-0608

レジャーに、お引越しに、工事作業に
至るまで
車のことなら何でも!!

BOXバン～ワゴン車
軽～普通車
平トラック・クレーン車
アルミバン
高所作業車
スカイマスタースーパーデッキ

エックスレンタリース北都株式会社

X Rent a car URL http://www.x-hokuto.com/

本社	TEL 022-385-6891	福島店	TEL 024-545-7755
六丁目の目	TEL 022-288-3711	郡山店	TEL 024-935-3711
長町	TEL 022-304-5722	会津店	TEL 0242-33-3711
山形	TEL 023-624-0151	いわき店	TEL 0246-25-5333
米沢	TEL 0238-23-4711	小名浜店	TEL 0246-54-5822
置賜	TEL 0238-50-1516	原町店	TEL 0244-26-5693

第45回東北6県公共キャンペーン作品展

【概況】 令和4年11月5日、6日の2日間、青森県青森市「ねぶたの家ワ・ラッセ 多目的室2」に於いて、コロナ禍で宮城県・岩手県開催を見合わせたため3年ぶりでの作品展は青森県屋外広告美術業協同組合の担当により開催された。

東北各県より出展された全29作品は、統一テーマの「自然環境(地球)」により、各々が考え抜いたデザインやメッセージ性に加え、確かな技にも久々の作品展に対する熱い思いが強く感じられた。

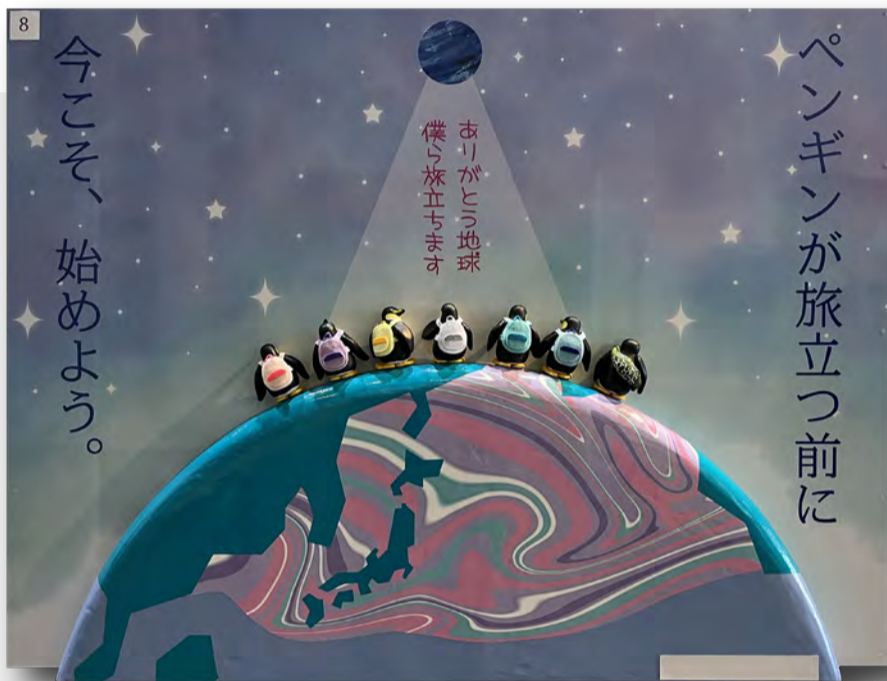
初日の作品審査会では、審査委員長に八戸工業大学感性デザイン学部感性デザイン学科教授の宮腰直幸氏をお招きし、他に審査委員として、国土交通省都市局公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室企画専門官の下平弘和氏と青森県県土整備部次長の類家正剛氏(部長の宮本健也氏の代理審査)、第五代目ねぶた名人の千葉作龍氏のご協力を頂戴し、当連合会審査基準に則り厳正な審査を行っていただいた。御協力に心より感謝申し上げます。



またこの審査会では、当連合会技術開発委員会森副委員長(宮城県)と同委員会の五日市委員(青森県)の2名が審査会全般の運営を行い、審査状況を見届けていただいた。その結果入選8作品が決定したので、ご紹介したい。

第1位の国土交通大臣賞に福島県の(株)天狗堂(鍋谷隆氏)、第2位の日広連会長賞に青森県の(株)エーアイサイン①(西塚昌生氏)、第3位の東北地区連会長賞に宮城県の(有)アカシヤ画房(小沼信氏)、第4位の全国広告美術技能士会連合会会長賞に宮城県の(株)アベ美装(坂東大地氏)サインクリエイター協会賞に青森県の(株)アート・サイン(竹ヶ原隆夫氏)、優秀賞の3作品は順に福島県の(株)クリエイティブダイワ(大戸邦男氏)、山形県の(有)京野工芸(京野秀明氏)、青森県の(株)エーアイサイン②(澁谷理恵氏)の皆様である。

上位3作品は令和5年3月の青森県平川市で行われる東北大会会場に展示公開される。



第1位 国土交通大臣賞
福島県 (株)天狗堂 鍋谷隆氏

立体的な地球の上に立つ7羽のペンギンで地球温暖化への警告を訴えた作品である。雰囲気は可愛らしいが、内容は深刻なものである。この作品を見た親子がするであろう会話が想像でき、そこから地球温暖化について考えていく展開が想像できる作品である。



第3位 東北地区連会長賞
宮城県 (有)アカシヤ画房 小沼信氏

同じく海洋ゴミについて、ゴミと魚、モノトーンとカラーを対比させることで海洋汚染の防止を訴えた作品である。構図が美しく、対比によって主張が分かりやすく表現されている。プレートに書かれたメッセージが若干読みにくくなってしまったのが残念であった。



第2位 (社)日広連会長賞
青森県 (株)エーアイサイン① 西塚昌生氏

海洋ゴミをクジラの形に配置して海洋汚染の防止を訴えた作品である。ゴミの中にハートを一つ置くことでまだ希望があるように見える。初見では見逃してしまいそうだがよく見ると細かな工夫がされており、丁寧な作業が見て取れる。



第5位 サインクリエイター協会賞
青森県 (株)アート・サイン 竹ヶ原 隆夫氏



第4位 全国美術技能士会連合会会長賞
宮城県 (株)アベ美装 坂東 大地氏



第8位 優秀賞
青森県 (株)エーアイサイン② 澁谷 理恵氏



第7位 優秀賞
山形県 (有)京野工芸 京野 秀明氏



第6位 優秀賞
福島県 (株)クリエイティブダイワ 大戸 邦男氏

出展協力 全29社

- 青森県 ▶ (株)エーアイサイン×2・(株)アート・サイン・(有)千葉看板・(株)エーアンドエム・サイトウ看板店
- 岩手県 ▶ (有)第一美工・(株)栄建×3 ・(有)オックス画房×2
- 秋田県 ▶ (株)アートピアササキ・(有)うりた看板・カタムラ看板店・テルイカンバン(有)
- 宮城県 ▶ (有)アカシヤ画房・(株)アベ美装・(株)日の丸ディスプレイ仙台
- 福島県 ▶ (株)天狗堂・クリエイティブダイワ×2・(株)原町サイン・(有)芸プロ
- 山形県 ▶ (有)京野工芸・(有)山形商美社・(有)尚文堂・山新建装(株)・東北シルク(株)

※11ページに出展全作品を掲載しております。

【総評】
*審査委員長 宮腰直幸氏
コロナ禍の影響により3年ぶりの開催となった本作品展であるが、その間の想いを昇華させたような力作揃いであった。
『自然環境(地球)』という、様々な問題が含まれたテーマに対し、どのような切り口で問題を捉え、どのような解決を訴えるのか、審査をする側としても大変考えさせられる展示であったと思う。
日頃の業務で培われた技術や表現が発揮され、いずれも見応えのある作品であった

サイン資材から 大型品加工まで

いろいろな素材に印刷可能！
ワークエリア: W1600×h∞(条件あり)×t40(mm)

UVインクジェットダイレクトプリンター

様々な樹脂関連製品、看板材料を数多く取り扱っております。

カルブ文字や複雑な形にも対応のマルチカットマシン！
ワークエリア: W1600×h3000×t30(mm)

大型カッティングルーター

アクリルの切文字や木材、紙の加工にも対応！
ワークエリア: W1200×h850×t20(mm)

レーザー加工機

あらゆる広告製品の「ものづくり」を提案してまいります。
看板・広告物に関する製作・材料選びは当社にお任せください。

株式会社 クラフト
〒990-2445 山形市南栄町1丁目1-56
TEL:023-632-2435 FAX:023-632-2438
E-mail:shop@craft-art.co.jp



MARUWA SHOKAI
スリーエムジャパン株式会社 特約加工販売店

株式会社 丸和商会
〒321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂3-5-14
TEL:028-656-3611
東京・高崎・郡山・仙台・秋田・青森
<http://www.maruwashokai.co.jp>

秋田



近況報告

秋田県屋外広告美術協同組合

副理事長 瓜田智哉
(有限会社うりた看板)

秋田県の組合員数17事業所(令和4年7月)東北地区連の中で最小であります。手元にある名簿によりますと平成20年には32事業所、昭和50年代には50事業所前後の組合員数だと記憶しております。組合員減少は他業種の組合でも同じように見受けられますが、我々の組合員減少問題は組合の存亡に係わるほどの事のように思えます。秋田県の人口減少率は全国ワースト1

位です。これに比例しているの、私の地元、人口8万人弱の由利本荘

受注が減り時間が出来るようになったここ数年(仕事がヒマと言うことです

が)、看板屋の道具と材料を生かしてケチケチDIY(お金を掛けない)にハマっております。自宅に棚を作ったり、趣味のギター用スタンドやキャンプ道



市には看板業を営む所が7事業所あり、其の内組合員が2社、元組合員が3社、他2社で機会があるごに入会を勧めてはおりますが、費用対効果があるのかと問われると、こちらも明確なメリットを答えることが出来ず自分の力量の無さを実感しております。話は全く変わりますが、コロナ禍で

具や機械工具を入れる道具箱、壊れたプロッタの台を利用してワゴン e t c . 大半が余ったベニヤやコンパネ等々有る材料、有る道具を使って製作しております。製作時も面白いのですが、企画・設計(大袈裟かな)をしている時が面白かったです。いかに、手元に有る材料や道具類で作ることが出来るかを考えるのは結構、頭を使って老化防止にもなるんですよ。出来栄は手造り感いっぱいですがそれなりです。

秋田県屋外広告美術協同組合賛助会員

● 中村塗料販売株式会社

秋田市寺内蛭根 3-24-15 TEL 018-863-2005

● 株式会社丸和商会

秋田市東通 6-9-4 グランデール東通101号 TEL 018-874-8731

● (株) システムアート

秋田市外旭川字田中 43-3 TEL 018-863-7514

事務局便り

今年皆さまの地域はどんな感じでしょうか？まだコロナが流行っていますね…仙台にいる長男がかかった時は、離れているため心配でした。気を付けていたのですが、こればかりはごつにもなりませんね。秋田は会員が二社減りました。人口も減る一方です。下の子供も、秋田にいてもつまらないと県外へ進学してしまいます。気持ちはわかります…私もそう思っていました。ただ県外の友達が遊びに来た時、四季があつて素晴らしいと言ってくれました。悪い事ばかりではないですね……

皆様くれぐれもお体にお気を付けください。

事務局員 小林 明子

青森



私たちが育った町八戸・冬

青森県屋外広告美術業協同組合

副理事長 吉田 賢治

(株式会社ニシキデザイン)

ついでこの間、明けましておめでどうの挨拶をしたと思つたらあつという間に一月が過ぎようとしております。冬は冬らしくと思ひますが、雪に不慣れな地域にまで雪がどつさり降つて交通をマヒさせたり、農作物に被害を与えたり、燃料費が高騰するといったニュースが飛び込んできます。皆様の地域はいかがでしょう。

青森県でも青森市や弘前市といった津軽地方は、市街地でも積雪100cmを超えるくらい雪が降ります。木村理事長や私の住む八戸市は、青森県の太平洋側(南東)に位置し、あまり雪は多くありません。雪は少ないですが風は強く「凍(しば)れる」という感じでしょう。降つた雪は天候によつて溶けたり溶けなかつたりします。日中溶けて夕方冷え込んでくるとブラックアイスバーンになります。また、溶けなかつた雪はトラックや乗用車のスタッドレスタイヤで押し固められミラーアイスバーンになります。どちらも運転するには厄介で、あるかもしれないと思つていかないとすぐハンドルを取られたり後輪を振つたりします。緩い上り坂でも上がれないトラックや、緩い下り坂をタイヤをロックさせたままスリップと滑つていく車を時々見かけます。この線橋や橋梁は事故多発地帯になります。通勤時間帯はよく大渋滞になるので、通常の

倍ぐらい時間的余裕を持たないと遅刻することになります。普段は六時頃の起床が、今は五時〜五時半くらいでしょうか。布団から出るのが少々つらいです。

こんな氷の世界で暮らしてきたので、スケートは身近なものでした。小学校一年生から、スケート教室がありました。週末は友人とアイススケート靴をもって屋外スケート場に行きました。小学生でもアイススケート靴を持っていて、スピードスケート・アイスホッケー・フィギュアスケートとまちまちでした。見た目のカッコよさで、アイスホッケー用の靴を持っているだけで皆から羨望のまなざしを受けていたと思います。人の間を縫う様に滑ったり、氷を削りながら急ブレーキをかけたりしながら400mリンクのアウトコースを滑っているのが、つこよく見えました。それとは対照的にインコースを前傾姿勢であつという間に追い越して何周も滑っているスピードスケーターは驚きでした。ゆっくりしたフォームなのにすごいスピードで追い越していくのを見ては不思議でありませんでした。真似しようとしてもどうやればいいのかわからない、教えてくれる人もいなかったのでただただ羨ましいと思つたものでした。へとへとになるまで滑つた後、帰り道では出店で揚げたてのアメリカンドックをケチャップ



つけて食べたり、繁華街の食堂で、格安の熱々もやしラーメンを食べるのが楽しみでした。昭和四十年代でしたが百二十円ぐらいだったと思います(あやふやです)

時は過ぎて令和五年二月二十八日より国体冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が開催されました。昭和二十二年の第二回国体冬季大会スケート競技会開催から数えて、開催数最多の十四回目になりました。二番目

に多い盛岡や日光の八回に比べても多いのがわかんと思ひます。現在は屋内400mリンクとアイスホッケー・フィギュアスケート用の室内リンクが3カ所あり、私たちの小さいころと比べると、とても恵まれた環境で隔世の感があります。国体フィギュアスケートでは坂本かおり選手が見事優勝したり、昨年十二月には羽生結弦選手が横浜市に続いて二回目の単独アイスショー「プロローグ」が開催されました。スピードスケートの高木三帆選手・小平奈緒選手も全日本距離別選手権大会で来八されるなど、世界のトップ選手が地元でみられる環境にあるというのはとても嬉しいです。また子供たちにとつては、世界レベルの選手を間近で見られるというのはとてもいい勉強になると思ひます。世界レベルのスピードや力感、子供たちの成長のきっかけになるのではないかと思ひます。チャンスがあれば、子供たちに孫たちいろいろなものを見せ経験させたいと思ひます。

※写真は昭和44年八戸初のパイピングリンクオープン八戸市提供

事務局便り

昨年11月、2年間で中止されていた「東北6県公共キヤンペーン作品展」と「東北地区連合同会議」が青森県で開催されました。

各県関係者へご案内を差し上げましたところ、たいへん多くの方からご出席の回答を頂きまして、終了後の懇親会はとても賑やかな楽しいものとなりました。改めてお礼申し上げます。青森県を訪れて下さつてありがとうございました。

また、しばらくお会いできていなかった皆さまと、近況報告をしあい、時間が経つのが本当に短く感じられたひとときでした。今後、予定されている事業計画が、このまま繋がっていきますように願つております。

令和5年が、良い年でありますように。
本年もよろしくお願ひいたします

事務局員 野月 幸子

岩手



親の七光りと0を1にした先輩たちの偉大さ

岩手県屋外広告美術業協同組合 理事・総務財政委員長 佐藤 優
(有限会社ナイガイ)

私は「親の七光り」と揶揄される事が嫌いじゃありません。むしろ「そうだよ。羨ましいでしょ?」と思います。周りにはそう言われると機嫌を損ねる人が多いので、少し変わっているという自覚はあります。

なぜそう思うのか。先代の社長である父は既に他界していますが、そう言われるという事は、私の父親は成功者なのだと思われ、評価されている気配がしてとても誇らしいから。そして、そう言われているうちは皆様の記憶から父が消えておらず、まだ父がどこかで生きていようような気持ちになれるからです。

実際、営業や新規顧客の開拓を行なった事が無く、発注いただいた仕事のみで会社を運営し、PRするよりも当社を見つけてくれたお客様に向けた対応・製品のクオリティに驚き満足してもらおう事で次に繋がるようベストを尽くすという方針の我が社にとって、新規のお客様になぜ今回の仕事を発注していただいたのかを聞くと、未だに「先代社長さんのお世話になったからですよ」と数々の思い出話と共に教えて戴くこともあり、亡くなって5年が経った父に今でもトップセールスマンで

あり続けてもらっていることに感謝しながらも、それはそれで不甲斐ないというか申し訳ない気持ちになったりしますが、世間一般の親子からすれば別れが早かった分、もう少しだけ天国にいながらトップセールスマンを続けてもらって、親の七光りの恩恵を享受させてもらっちゃおうかなと思つていますし、父も天国で「しょうがねえな」と苦笑いしているんじゃないかと勝手に想像しています。

さて、これといった趣味もなく、様々な角度から降り注ぐ諸問題という名の火の粉を振り払うのに精一杯な毎日、貴重な時間を割いてこの原稿を読んでくださる皆様にお伝えできるような事柄は特にございません。というのが正直なところですが、私が会社を引き継いでみて、ぼんやりと見えてきた事は「1を10にしたとしても、0を1にした人間には敵わない」ということとです。

今回の原稿を依頼されるにあたり、青広美様のホームページに機関紙のアーカイブがあると教えていただき、創刊号から拝読させていただきました。

そこには、0を1にした偉大な先輩方や、会社名と御名前は存じ上げていないもの、とてもじゃないが畏れ多くて近づけないような先輩方が、恐らく今の私よりも若い年齢の時に書いたと思われる文章が掲載されており、当時の世相や会社を運営していく上での考察や悩みが記されていて、その見識の高さに驚きながら非常に興味深く思うと共に、諸先輩方も自分と同じ悩みを抱えていた時期があったのかと勇気づけられる内容となっております。

会社をやっていると幸せな時間より苦しい時間の方が遥かに多いものですが、0を1にして渡してくれたからこそ私にはその数字を増やすチャンスが与えられたのだと思います。とりあえず今は私が将来、向こうの世界で父と再会した時に「やれる事はやっておいたよ」と報告できるように、目の前のことを疎かにせずコツコツと実績を積み上げていきたいです。

私はまだ何も成し遂げておらず1を10にしたなどは全く思っておりませんが、仮に何かを成し遂げられたとしても、何もない0の状態から事業を起した先輩方の覚悟・努力・バイタリティーには到底及ばないのだからと感

LEDカーテンライトシリーズ

N-HQ
ニュー HQ スレンディー AC100V

幅15φ 配光角240°
よりネオンに近い形状
UV耐候3年 屋外対応

省エネ (50W⇒33W)
安心の3年保証
特殊レンズで
より明るく

あらゆる看板に
デコレーションに
安くて明るいマル球
カラー七色

アイネオン

LED開発・サイン関連資材販売
株式会社 アイ・エス・パートナー
AI-KOUGEI Group

http://www.is-part.com

TEL.03-5917-3680 FAX.03-5926-6423
E-mail:sales@is-part.com

朝5時半キッチンに立ち、窓際に置いた敬愛する渡辺知子さんの格言が1日のスタートにカツを入れてくれます。

置かれた場所で咲きなさい

置かれたところこそが、あなたの居場所、咲けない時は、根を下へ下へと降ろしましょう。

どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。

「いいねいに生きる」とは、自分に与えられた試練を感謝すること。

マスク暮らし3年、これが試練だとしたらいつか大きな花を咲かせるための準備期間と思えば、丁寧日々過ごしたいものです。

今日も渡辺知子さんの格言に励まされ、横にそなえたお地蔵さんにお香をたき、こころごとく一歩ずつ。

事務局員 小野寺 美智代

宮城



パンデミックの終息と歴史からみる業界の今後

宮城県屋外広告美術協同組合 副理事長・広告景観委員長 新崎 博
(日の丸ディスプレイ仙台株式会社)

依然として影を落としているコロナ禍に加え、外国に生産を依存したしわ寄せによるウッドショックに半導体ショック、更にロシアのウクライナへの軍事進撃による資材・エネルギー価格の高騰等、全ての業界に影響が及ぶ苦難の状況に我々はいると感じる。2020年初頭から始まったパンデミックだが、人々の価値観や生き方を大きく変えて来た。この3年間、様々な事を考えさせられたものである。考えさせられた事の一つに、我々が集う「看板業界」がある。事業の変革を求められる中、看板屋の本質を見出すべく業界の歴史を振り返り見た。

平安時代に使い始められたとされる商店の看板であるが、当時は干物や野菜などの商品を軒先に直接吊るす「現物看板」であった。江戸時代に入ると木板を掘り、漆などで文字を書き作られるようになり、後に浮世絵などの絵も使われるようになる。油を光源とした「行灯」もこの時代に多く使われ始めたようだ。明治時代になると漆の他に絵具などが使われ、カラフルな看板へと進化する。大正時代には様子が少し変わり、主材料であった木に加えトタ

ンやブリキが使われ始めた。ここまでは、板材や和紙に絵や文字を書くのが主流で、業界の先人達が営んできた看板屋の原型と言える「書き文字屋」である。昭和に入ると看板づくりの進化が加速する。まず、文字を書く相手が板材から、自動車、シャッター等と町の商店や企業の拡大と共に多様化し、同時に公共設備やインフラの発展と共に橋梁やガスタンクにも書き文字が重宝された。

次は材料の変化である。木製の面板の対候性、耐久性、重量等に伴う短所を補う「アクリル」の登場である。当初は書き文字屋も塗料を変えアクリル板に文字を書いていたが、アクリル加工需要が増えるにつれ、書き文字に変わリアクリルをマシンで切る「切り文字」が貼られ、行灯看板や袖看板もアクリル製に置き換えられた。そして、書き文字とアクリル切り文字の小ロット生産と言う短所を補う形で、シルクスクリーン印刷やユニライトと言った加工方法が採用されて、精度や美しさもレベルアップした。しかし間もなく、加工時間や製造コストの短所を払拭する、塩

ビシートやインクジェット印刷に取って代えられた。また、屋外対候性に弱点を持つアクリル看板は、スチール、ステンレス、アルミ、複合板に置き換えられ、看板の大型化に伴い、鉄骨加工なども手掛

書き文字から始まったと言っても過言ではない看板の業界は、機械化と製造技術を習得しながら変化を成してきた。

行灯看板に使われてきた光源も同じで、油や蠟燭から、電球、蛍光灯、ネオンと進化し、現在ではLEDが大半を占めるようになった。

多くの産業は、時代の変化と共に他業界に取って代わられ衰退してきたのだが、我々の業界は衰退せずに自ら対応し進化を遂げてきた。

我々の組織の目的の一つに「地位向上」がある。長年掲げている目標ではあるが、掲げ続けているという事は、達成していないという反面もあると言える。組合員の増強時に「組合に入るメリットは何ですか?」と聞かれることがあり、相手を納得させられる明確な回答が出来ないのは小生だけの経験ではな

いはずだ。
我々は良く器用貧乏と言われ、何にでもそつなく対応できる業界である。ネガティブに捉えられがちである「器用貧乏」だが、「変化に対応する」と考えれば強みにもなり得る。
パンデミックの終息も見え、新しいライフスタイル、新しい商売の方向にさらに進む。業界の進化の速度が落ちていく今こそ、我々も先人たちのように業界を進化させ、「組合に入るメリット」を強調できるようにして行く事が、自社と業界の発展に大切であると感じた次第である。

第31回屋外広告士試験(仙台会場)実施状況

令和4年10月16日に全国一斉に「屋外広告士試験」が実施され、仙台会場で65名(受験申込72名)が、エルパーク仙台5階セミナーホールで受験した。12月16日に合格発表があり、13名の方が合格されている。

当日の試験運営は「宮城県屋外広告美術協同組合」の佐々木理事長を総括監理者に、他に地区連鈴木専務理事と地区連事務局秋葉、高橋の2名が行い無事終了している。

R4.10.16 受験風景



withコロナという生活はまだ継続していく気配が濃厚であるが、受験者の方が集中して当日望める環境があれば、条件の良い公共施設を確保したい。

なお、「第32回屋外広告士試験」の受験に関する情報は、春に公開されるので各県組合事務局や日広連HP等を確認してご対応いただければと思う。

福島



戻りつつある平穏な日常

福島県屋外広告美術協同組合 理事・啓発事業委員長 星 臣 (ホシトモ看板)

未だコロナの終息は見えてきていませんが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？大寒波が襲来し、昨年より積雪が多く厳しい寒さを感じております。さて、令和四年度福広美研修会・美術展が九月十日～十二日の三日間、相双地区(南相馬道の駅)にて開催されました。三年振りの美術展となりましたが、開催されるまでコロナの心配があり不安でいっぱいでした。感染対策をし、当日はたくさんの方々が来場者がありました。自然環境をテーマに製作した作品で、来場者にも多くの共感を得ることができました。各々、興味深く見ていただき投票し、質問などもありました。また、公園も近いことから、子どもたちの来場も多く賑やかな会場となり、開催できた事を心から嬉しく感じました。

その後、福島県ロボットテストフィールドにて、研修会が行われました。福島の未来を担うロボット産業に関わる研修内容で、今後はドローンで看板の点検などに役立つのではないかと感じました。看板業界にもロボットを取

り入れ、仕事の幅を広げることができればと思います。本来ならば研修会後、懇親会が行われるはずでしたが、コロナ禍のためやもなく開催されませんでした。参加された組合員の皆様、準備等ご協力いただいた相双支部の皆様、この場をお借りして御礼申し上げます。

令和も早、五年を迎え忙しい日々を送っております。日常生活では物価の高騰がニュースで伝えられており、仕事でも材料の値上げが続く、厳しい状況であります。その中でもお客様に喜んでいただけるような広告物を製作し、日々精進しております。受注があり、仕事ができることが幸いだと感じております。

春にはコロナ感染症の位置づけが五類に移行すると言われております。個人的には、イベントの参加など以前のような活動ができるのではないかと、楽しみが増える気がします。

皆様もお身体に気をつけてお過ごしください。最後まで乱文をお読み頂きまして誠にありがとうございました。

事務局便り

明けましておめでとうございます。昨年も東北の組合員様、事務局様には色々ご指導と助言をいただき、ご協力をいただき、如何にか一年を終えることができました。ありがとうございました。

さて、今年は、東日本大震災から十一年二か月が経過、未だ原発による風評被害の中福島第一原発の処理水の海洋放出を政府が決定、新たな不安が生じている。そして、新型コロナウイルス感染症「第8波」に備えながら、ようやく三年ぶりのイベントが各地で開催され賑わいが少し戻ってきました。当組合もメイン行事の美術展や対面による総会が開催され、組合の役割が改めて重要であることが確認できました。今年も感染終息が見えない中において、怖さを素直に認識し、感染や経済的支援等の役立つ情報を組合員の方々に周知していただけるよう努めていきたいと思っております。

最後に今年こそ、一日も平穏な日常を取り戻せることを祈念して挨拶と致します。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務局長 本田律夫

3年保証 キョーワ

デル (DEL) ライト III
直管LED 電源別置型 (1灯・2灯用)

内照看板用直管LED

40W・32W・30W・20W TYPE
フルラインナップ

360°配光近日常売

電源(アルミケース) 防水性能:IP65相当
電源:Made in Japan

LEDサイン球 LEDモジュール 3年保証

彩光球 1年保証

明るい・きれい・使いやすい

(DC12V, AC100V) 各種モジュール (DC12V, AC100V) レンズ式 etc対応

〒547-0041 本社 大阪市平野区平野北1丁目7番12号
TEL (06) 6792-5000 FAX (06) 6792-5255
〒144-0052 Tokyo office 東京都大田区蒲田1丁目1番7号620号室
TEL (03) 5480-5003 FAX (03) 5480-5004

広告照明メーカー 協和電工株式会社

[HOME PAGE] <https://www.kyowadenco.co.jp> [E-mail] kikaku@kyowadenco.co.jp

CREATIVE DAIWA

<http://www.c-daiwa.co.jp>

株式会社 クリエイティブダイワ

山形



ゴルフと仕事の関係

山形県屋外広告美術協同組合

理事 渡部 芳久
(株式会社ワタベエ芸)

幼い頃からゴルフを習いジュニアゴルフ競技会に参戦していた我が子供達は、現在、長女は23歳となり東京都内でゴルフのティーチングを仕事とし、長男は20歳となり大学のゴルフ部で競技ゴルフをしています。

子供達が小中生だった頃は、ジュニアゴルフ仲間の父兄達とジュニアゴルフスクールの運営し週1回の基礎体力トレーニング・週2回のゴルフ練習場での打球練習、土曜日には、地元にあるHONMAゴルフ様からグリーン・バンカーまである新製品開発用の試打場をお借りし練習させていただきました。

そんな影響もあり子供たちが巣立った現在もシーズンとなれば毎日の早朝練習、休日には、仕事を通した仲間達とのラウンドが私のルーティーンとなっております。

また、SNSを利用しゴルフを趣味とする経営者仲間のグループを作りゴルフメンバーのマッチングを可能にして親睦を深めています。



ゴルフは社交の場としても有効で、普段では接点がないような人と繋がり、時にビジネスチャンスを得ることもあります。

さて、私的な思いではありませんが、ゴルフが上手い人には仕事ができる人が多い印象があり仕事とゴルフには通じるものがあるような気がします。まず思いつくのが礼儀作法・周囲への気遣いです。

ゴルフは紳士淑女のスポーツとされるゴルフの実力よりもゴルフアーマーとしてのマナーが重視されることからプレーを通してマナーや周囲への気遣いが自然と身につきます。

つぎに、ゴルフのプレーは全て自己責任

任という考え方があり、どうしたら上手

手くいくのか、失敗を最小限に抑えることが出来るのか、常に自分と会話しながら工夫をこらしてコースを攻略しなければならぬ事でセルフマネジメントが身につきます。このことは、ビジネスにおいても共通する重要なスキルだと言えます。

ゴルフの上達は、ただやみくもにスイング練習してもなかなか上達しません。

上達には、目標に向かって基本を忘

事務局便り

令和4年度は総会、パネル展、レクリエーションなどひと通りの行事を行うことが出来ました。

また、やまがた広告景観コンテスト実行委員会主催の「第10回やまがた広告景観コンテスト」の表彰式をタウンミーティングと同時開催し、これまでより一歩前進したタウンミーティングになったと思います。

まだまだコロナはおさまりませんが、今年度も気をつけながら活動していきたいと思っております。今年もよろしくお願ひします。

事務局員 中川 順子

れず二つ三つ技術を高めていく努力をすることが大切です。

しかし、努力してもなかなか結果に結びつかない。でも努力してものにした技術と経験は確実に積み重なって、ある日突然に、その効果が結果に表れる時が来る。

仕事においても目標の達成のために何か仕組みを変えた場合、結果が出るまでにはどうしてもタイムラグがあります。

目の前の結果が欲しくてではなく未来を見据えて、積み上げて行くことが大切であることこういうことが、ゴルフがビジネスや経営に似ているところです。

体力づくり、リフレッシュ出来ることも、仕事において元氣よく効率的に働ける為には大切なこと。

ビジネスパーソンの趣味として今後、ゴルフに興味を持つことがあったならばまずは打ちっぱなしから始めてみればいかがでしょうか。

令和5年度 普通課程 宮城県立
入学案内 仙台高等技術専門校

やってみたら、おもしろい
SENDAI
この手の先に未来が見える
NO SKILLS, NO LIFE!
技能のない人生なんて...!

サインデザイン科
YouTube 紹介動画

令和4年度 屋外広告物点検技能講習会(新規・更新)

現在、東北地方の自治体での点検に関する条例改正が進み、屋外広告物の安全点検実施者資格として「屋外広告士」等の他に「点検技能講習会修了者」も含まれ専門家である屋外広告業者への期待と責任も大きくなってきている。

この点検技能講習会修了者については平成29年1月の初回修了者に続き、8月の修了者も5年更新の時期を迎えたことにより、令和4年度には多くの講習会修了者の資格保持を念頭に1月、9月、12月の3回実施した。

更新講習会の実施については、猶予期間内で資格保持が確実に出来るよう今後も計画し実施していく予定である。更新時期に当たる修了者には、主催者である日広連やサイン協会より随時通知が届くので、猶予期間内での「更新」講習受講の機会を無駄にすることなく各自で資格の保持に努めていただきたい。この期間に更新講習を受講できない場合は、今ある講習会修了証は失効し、改めて新規講習会の受講が必要となる為、注意が必要である。

業界人鉄板の資格である「屋外広告士」の取得についても、毎年10月に試験が実施されるので、業務の合間には是非勉強して挑戦していただきたい。

なお、当連合会では、「屋外広告士試験対策実技(デザイン・設計)勉強会」を実施しているので、積極的に活用して受験に臨んでいただくことをお勧めしたい。

●令和4年度の新規及び更新講習会で講師を務めていただいたのは次の方々。

青森県組合：木村光徳氏(新規・更新)、木浪崇氏(新規)

岩手県組合：藤田健一郎氏(新規)

宮城県組合：佐々木慎太郎氏(新規・更新)、星川義和氏(更新)、森英源氏(新規)

山形県組合：服部正氏(新規・更新)

福島県組合：大戸邦男氏(新規・更新)、山田浩氏(新規)、高山晃氏(新規)

●会場係は、開催会場の所属県組合に基本協力を頂いている。

岩手県組合：佐藤寧氏

宮城県組合：鈴木章広氏

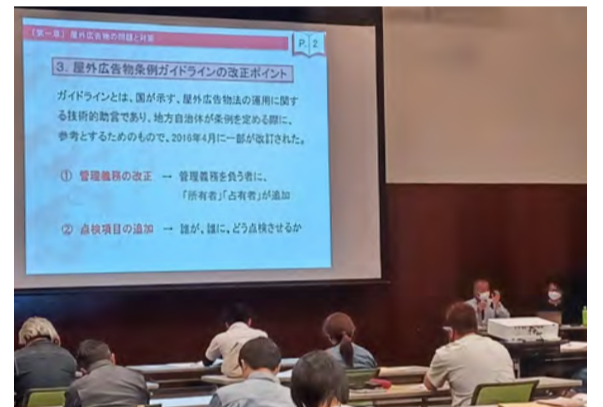
福島県組合：三室啓記氏、高山晃氏、大場淳二氏、箱崎宅弘氏、本田律夫氏

他に当連合会事務局2名

R4.1.15 第1回目
更新講習会 仙台市会場



R4.5.28
新規講習会 いわき市会場



屋外広告士試験実技対策 事前講習会

5回目の「屋外広告士試験実技対策事前講習会」は令和4年9月10日(土)に実技試験選択科目の「デザイン」と「設計」の2クラスに分かれ、宮城県立仙台高等技術専門校内の2教室内で実施した。



《デザインクラス》

受講者7名は、講師は石川菜々絵氏(宮城県立仙台高等技術専門校サインデザイン科・職業訓練指導員)から今回初めて阿部憲子氏(宮城県組合員社員)に担当していただいた。

指導テキストに沿って授業が進められ、質問を受けながら実際に手を動かしながら本番の試験を意識した講習会が行われた。



《設計クラス》

これまでの最多受講者数の9名については、これまで同様に木村光徳氏(東北地区連副会長・青森県組合理事長)に指導していただいた。

受講者の皆さんは指導に沿って、想定問題に熱心に取り組んでおり、解説や試験時の注意事項も含めた取り組み方法に耳を傾ける姿が印象的な講習会となった。

地区連・宮城県事務局便り

今シーズンは大寒波が襲来し降雪も多く連日の真冬日で水道管が凍結破裂したりと日常生活に難儀されているのではないのでしょうか。

さて、一年半ほど前から「昭和レトロ」がブームとなり、その代表格が西武園ゆうえんちなのです。昭和レトロをテーマにリニューアルしチケットの売上が、なんと13倍になったとか。

儲かる昭和メソッド。令和の時代に昭和の手法が再び注目されているそうですよ。

この好機が、我が看板業界にも押し寄せてくる気配が：ネット広告の時代に数十か所の野立て看板だけで宣伝して売上が倍増になった歯科医院。その屋外広告物とは、黒色をバックに文字は黄色で表示、女性受けが良いピンク色をバックに院長の大きな顔写真を載せ、見た人の目をくぎ付けにインパクトを与え、看板の設置は1kmおきに連立させアピールする。これで宣伝効果ガッチリだそうですよ。

屋外広告物を上手に活用してくれる人が増えて、我が屋外広告業界もより一層、令和5年の卯年にピヨーンと飛び跳ね益々発展飛躍の年となりますよように！ 本年もどうぞよろしくお願いたします。

事務局員 秋葉久美

昨年も変わらぬお力添えを頂戴しまして大変有難うございました。

また、「コロナ禍で中止していました地区連事業も青森県の皆様のご担当により、3年ぶりに昨年対面開催が復活し、嬉しい再開の機会が今年もまた増えそうです。

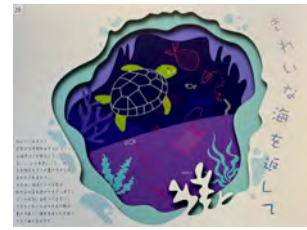
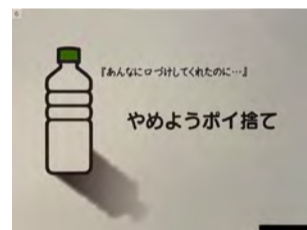
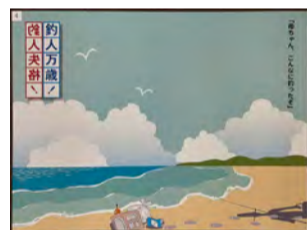
さて、先日、久々に東京の息子からのライン着信が：「誕生日おめでとうー！私」：「ありがとう。お祝いメール早くない？年取るの明日だけどなあ」と返すと、「あと、2時間。もはや変わらないうしよー」と息子。

『まあね...』気分的には微妙に違うかな、との言葉を飲み込むも息子からの連絡はやっぱり嬉しい。

最近娘に会う時以外は母の顔を忘れ、時に妻の顔をも忘れという日々。年に二度、様々な「おめでとう」に心躍りつつも普段忘れていた自分自身を再確認しているような気がします。

まずは、コロナ禍で会えずにいる母に力を与え、今度息子と会った時に「いつもの母だねー」と安心してもらえるように、浅い呼吸で突っ走ってしまった昨年を反省し、ゆっくりと深呼吸をしながら、気持ち新たにこの1年を過ごしたいと思います。皆様、今年も宜しくお願致します。

事務局長 高橋ちよ子



編集後記

今回、東北6県公共キャンペーン作品展開催でき、作品を掲載できますこと大変うれしく思います、そして4年ぶりの東北大会総会3月10日青森での開催、皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

コロナ発生から4年目そしてウクライナ戦争での影響で物資や資材高騰、社会の在り方、経済活動のシステムが激変しております。パソコンでのデザイン・ネットでの売買は当たり前、リモートでの会議等々、目まぐるしく進化してゆく中で、屋外広告業界を取り巻く環境においても、それに対応できなければ取り残されていく状況にあります。

私も70歳を過ぎ取り残されて行く一人です、後は若い人にお任せですねよろしく！ そんな中パソコンを使いこなせる人を見ると羨ましくなります。

木村さん機関紙今年も宜しくお願致します。

啓発事業委員長 石井 正幸
編集・製作 木村 光徳